



20230216

災害救護研究所セミナー

～ これからの日本の災害対応を考える ～

2023 年 2 月 18 日

進行台本

日本赤十字看護大学附属
災害救護研究所

1. 開催概要

名称 災害救護研究所セミナー

内容 ◆基調講演 上村 昇 うえむら のぼる（内閣府大臣官房審議官（防災担当））

◆災害救護研究所 部門報告

部門長 ①災害救護部門 中野 実 なかの みのる（前橋赤十字病院院長）

②国際医療救援部門 中出 雅治 なかで まさはる（大阪赤十字病院国際医療救援部長）

③国際救援部門 佐藤 展章 さとう のぶあき（日本赤十字社事業局国際部国際救援課長）

④災害看護部門 内木 美恵 ないき みえ（日本赤十字看護大学国際・災害看護学教授）

⑤防災減災部門 白土 直樹 しらつち なおき（日本赤十字社総務局人事部次長）

⑥心理社会的支援部門 森光 玲雄 もりみつ れお（諏訪赤十字病院臨床心理課長）

⑦感染症部門 古宮 伸洋 こみや のぶひろ（日本赤十字社和歌山医療センター感染症内科部長）

⑧災害ボランティア部門 安江 一 やすえ はじめ（日本赤十字社事業局救護・福祉部次長）

⑨災害救援技術部門 曾篠 恭裕 そしの やすひろ（熊本赤十字病院国際医療救援部救援課長）

◆挨拶 清家 篤 せいけ あつし（日本赤十字社社長）

◆座長 富田 博樹 とみた ひろき（災害救護研究所所長、学校法人日本赤十字学園理事長）

山本 保博 やまもと やすひろ（医療法人伯鳳会東京曳舟病院病院長、一般社団法人 協力隊を育てる会会長、日本医科大学名誉教授）

会場 ZOOM webinar（発信：日本赤十字看護大学広尾キャンパス）

日程 2023年2月18日（土）13:00～15:30

2 プロフィール

上村 昇



内閣府大臣官房審議官(防災担当)

東京都出身。

建設省(現国土交通省)入省後、国土交通行政のほか、人事政策や環境政策などに関わる。

防災関係では、消防庁で救助、国際協力に携わった。2022年7月より現職。

山本 保博



医療法人伯鳳会東京曳舟病院病院長
一般社団法人協力隊を育てる会会長
日本医科大学名誉教授

1968年日本医科大学卒業。1974年同大学大学院医学研究科修了。同大学第一外科に入局後、日本医科大学付属病院救命救急センター（現・高度救命救急センター）にも従事する。同・多摩永山病院救命救急センター長、同・千葉北総病院病院長、同大学付属病院高度救命救急センター部長などを歴任。

1980年には国際緊急援助活動に参加し、以降も各地で救援活動にあたる。2017年より現職。（東京曳舟病院 HP より）

3. 広尾キャンパス会場 MAP

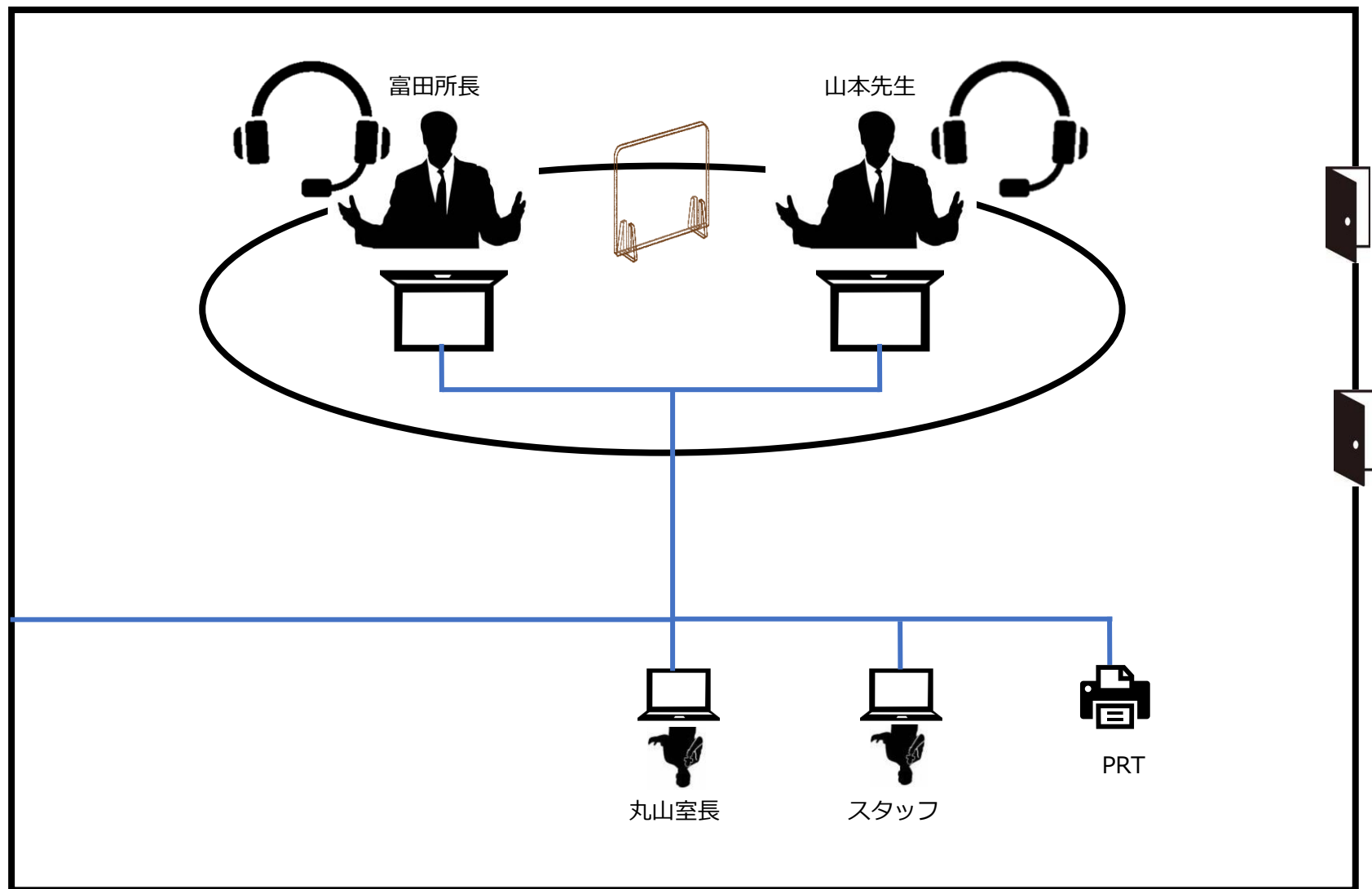
担当	場所	名前	内線
座長	応接室	富田所長、山本先生、 丸山室長、三浦、門倉	143
講演者	学部長室	上村審議官 ※スタッフなし	147
学長	学長室	守田学長	144

副所長	研究科長室	井村副所長	148
事務局長	事務局長室	関口事務局長	112
配信スタジオ	第1会議室	渋澤、力石、小暮	108, 109
モニタリングルーム	第2会議室		110
モニタリングルーム	555室	スタッフ(大江)	555
モニタリング/補助	第1事務室	スタッフ(高橋、好永)	135, 120

清家社長、各部門長は学外から参加



4. 応接室（座長室）レイアウト



5. 全体スケジュール

■当日準備

時刻	スケジュール	備考
9:00	スタッフ集合、準備	
10:00	丸山室長、三浦さん来校	時刻は目安
10:30	富田所長来校	
11:00	座長、各部門長接続確認、富田・山本・上村 PC 接続確認、最終リハーサル	
11:30	山本先生来校、スライド送り指示等の操作説明	ハイヤー送迎
12:00	関係者昼食休憩	
12:30	上村審議官来校、操作説明	
12:30	清家社長接続確認	
12:35	一般参加者 ZOOM 入室開始、動画配信	上村審議官と清家社長の接続確認終了後に 一般参加者入室開始

■セミナー本番

時刻	スケジュール	座長進行	所用時間
13 : 00	開会		
13 : 01	開会の辞（富田所長）		2 分
13 : 04	清家社長挨拶		6 分
13 : 13	上村審議官による基調講演	富田所長が紹介	30 分
13 : 44	各部門長から報告		7 分×7 部門+9 分（2 部門）
14 : 44	山本先生から関連発言		10 分
14 : 55	全体討論（山本先生、富田所長、上村審議官、清家社長、各部門長）	山本先生が進行	16 分
15 : 12	質疑応答	山本先生が進行	5 分
15 : 18	軽部部長コメント	富田所長が紹介	3 分
15 : 20	清家社長コメント	富田所長が紹介	3 分
15 : 26	山本先生による座長総括		3 分
15 : 30	閉会の辞（守田学長）		3 分
15 : 32	閉会		

6. ZOOM 用 PC 配備状況

■講演者等 ※PC 接続は有線を推奨。

使用者	場所		PC 権限（ホスト付与）	備考
富田所長	応接室		カメラ、マイク	丸山室長、スタッフ同室
山本先生	応接室		カメラ、マイク	丸山室長、スタッフ同室
上村審議官	学部長室		カメラ、マイク	
清家社長		学外（自宅）		
守田学長	学長室			

中野院長		学外（前橋 H？）		
中出部長		学外（大阪 H？）		
佐藤課長		学外（本社？）		
内木教授		学外（大学研究室）		
白土次長		学外（本社？）		
森光課長		学外（諏訪 H？）		
古宮部長		学外（和歌山 H？）		
安江次長		学外（本社？）		
曾篠課長		学外（熊本 H？）		

司会者	第 1 会議室(配信スタジオ)			
-----	-----------------	--	--	--

■スタッフ等

使用者	場所	担当	PC 権限	備考
司会者	第 1 会議室(配信スタジオ)	渋澤		
配信ホスト	第 1 会議室(配信スタジオ)	ArtWorks		
PPT 操作、動画操作	第 1 会議室(配信スタジオ)	ArtWorks		
丸山室長	応接室	三浦・門倉	プリンタ	富田所長、山本先生同室
井村副所長	研究科長室			
関口局長	事務局長室			
総合調整	第 1 会議室(配信スタジオ)	カ石 時間確認	共同ホスト	部門長接続確認
総合調整	第 1 会議室(配信スタジオ)	小暮 時間チャット送信	共同ホスト	部門長接続確認
総合調整	第 1 会議室(配信スタジオ)	上本	共同ホスト	IT トラブル
モニタリング	第 2 会議室	桑原	一般参加者	
総合調整補助	第 1 事務室	高橋 ※緊急携帯所持	共同ホスト	部門長接続確認 ※070-3525-8562
モニタリング	555 室	大江	一般参加	研究所あて照会対応

7. 進行台本

Time	Lap	Scene	出演	コメント	画面・PPT	備考
12:35		入室開始			日赤活動紹介 動画	清家社長接続確 認後、配信開始
12:55	(1`00)	開会前連絡	司会者	本日はご参加いただきありがとうございます。 このあと午後 1 時より、災害救護研究所セミナーを開催いたします。 開始まで、しばらくお待ちください。 ZOOM のご参加には、有線のインターネット接続を推奨しています。 ネット環境や音声ボリュームなどをあらかじめ、ご確認ください。 なお、本日の発表資料につきましては、一部を本研究所のホームページにて公開しておりますので、併せてご利用ください。 それでは開始まで、今しばらくお待ちください。	注意事項 PPT	※影ナレ
13:00	1`00	開会	司会者	ただいまから、日本赤十字看護大学附属災害救護研究所主催による災害救護研究所セミ	司会者カメラ	

				ナーを開催いたします。 本日は、ZOOM ウェビナーを用いてオンラインで開催しております。 ご質問等何かございましたら、すべてチャットへの書き込みをお願いいたします。 申し遅れました私は、司会進行をつとめます 渋谷と申します。 どうぞよろしくお願いいたします。 まず初めに、日本赤十字看護大学附属災害看護研究所所長で学校法人日本赤十字学園理事長である富田博樹よりご挨拶申し上げます。		
13:01	2`00	開会の辞	富田所長		富田カメラ	
13:03	1`00		司会者	富田所長、ありがとうございました。 続きまして、本日ご参加いただいております 日本赤十字社社長清家篤様よりご挨拶を賜りたいと存じます。 清家社長よろしくお願いいたします。	司会者カメラ	
13:04	6`00	挨拶	清家社長		清家カメラ	
13:10	1`00		司会者	清家社長、ありがとうございました。	司会者カメラ	

				それでは、まずは本セミナーの基調講演に移りたいと思います。 講演者のご紹介につきましては、本日の座長を務めます本研究所の富田所長から申し上げます。 では富田所長、よろしくお願いいたします。		
13:11	2`00	講演者紹介	富田所長	災害救護研究所の富田です。 それでは私から、本日の基調講演をお願いしております内閣府防災担当の上村審議官をご紹介します。 上村審議官は東京都のご出身で、建設省(現国土交通省)入省後、国土交通行政のほか、人事政策や環境政策などに関わられてこられました。 防災関係では、消防庁で救助、国際協力に携わったご経験もあり、2022年7月より現職の内閣府の防災担当にご着任されています。 上村審議官には、本セミナーのテーマである「これからの日本の災害対応を考える」に合わせたご講演を頂戴することになっており	富田カメラ	上村プロフィール

				ます。 それでは、上村審議官、よろしくお願いいたします。 します。		
13:13	30`00	基調講演	上村審議官		上村カメラ	PPT 資料無し
13:43	1`00		司会者	上村審議官、ありがとうございました。 ただ今のご講演について、ご質問等何かございましたら、すべてチャットへの書き込みをお願いいたします。 それでは次に移ります。 ここからは、災害救護研究所に設置された 9 部門から、それぞれ取り組んでいる研究内容について各部門長に報告していただきます。 まずは、災害救護部門中野部門長から順番にリレー式をお願いいたします。	渋澤カメラ	【部門報告】 ① 部門の目的・研究テーマ ② 22 年度の研究計画 ③ 22 年度の活動と成果(学術、アウトリーチ) ④ 今後の方向性や研究テーマ
13:44	7`00	①災害救護部門	中野院長	災害救護部門長の中野です。 ・・・	中野カメラ 中野 PPT①	

				次は国際医療救援部門並びに国際救援部門です。		
13:51	9`00	②国際医療救援部門 ③国際救援部門	中出部長 佐藤課長	国際医療救援部門長の中出です。 ・・・ 国際救援部門長の佐藤です。 次は災害看護部門です。	中出力メラ 中出 PPT② 佐藤カメラ 佐藤 PPT③	合同研究のため、 佐藤部門長は追加発言
14:00	7`00	④災害看護部門	内木教授	災害看護部門長の内木です。 ・・・ 次は防災減災部門です。	内木カメラ 内木 PPT④	
14:07	7`00	⑤防災減災部門	白土次長	防災減災部門長の白土です。 ・・・ 次は心理社会的支援部門です。	白土カメラ 白土 PPT⑤	
14:14	7`00	⑥心理社会的支援部門	森光課長	心理社会的支援部門長の森光です。 ・・・ 次は感染症部門です。	森光カメラ 森光 PPT⑥	
14:21	7`00	⑦感染症部門	古宮部長	感染症部門長の古宮です。 ・・・ 次は災害ボランティア部門です。	古宮カメラ 古宮 PPT⑦	
14:28	7`00	⑧災害ボランティア部門	安江次長	災害ボランティア部門長の安江です。 ・・・ 次は災害救援技術部門です。	安江カメラ 安江 PPT⑧	
14:35	7`00	⑨災害救援技術部門	曾篠課長	災害救援技術部門長の曾篠です。	曾篠課長	

				・・・ 以上で、災害救護研究所 9 部門の報告を終了いたします。	曾篠 PPT⑨	
14:42	2`00		司会者	部門長の皆さま、報告ありがとうございました。 それでは、これまでの講演や報告を踏まえ、本日、富田所長とともに座長をお願いしております山本保博先生から、ご発言を頂戴したいと思います。 山本先生は、現在、医療法人伯鳳会東京曳舟病院病院長、一般社団法人協力隊を育てる会会長、日本医科大学名誉教授でいらっしゃいます。 それでは、山本先生、よろしくお願いいたします。	渋谷カメラ	
14:44	10`00		山本先生		山本カメラ 山本 PPT	
14:54	1`00		司会者	山本先生、ありがとうございました。 それでは、引き続きまして、本日も講演いただいた上村審議官や災害救護研究所の各部	司会者カメラ	

				門長の皆様にもご参加いただいて、本セミナーの全体討論に移ります。 参加される先生方はカメラをオンにしてください。 また、ご視聴の皆様におかれましてはご質問がございましたらチャットにてお寄せください。 なお、恐れ入りますが、チャットの受付は15:10 までとさせていただきますのでご了承ください。 それではここからは山本先生に座長としての進行をお願いいたします。 山本先生、よろしくお願いいたします。		
14:55	17`00	全体討論	山本先生	座長の山本です。 それでは、ただいまから災害救護研究セミナーの全体討論をはじめさせていただきます。 ・・・ ・・・	参加者ギャラリー表示	
15:12	5`00	質疑応答	山本先生	それでは、ここでみなさまから頂戴したご質問をいくつかご紹介させていただきます。	参加者ギャラリー表示	セレクト済みの質問を座長に手渡し

				なお、時間の都合上、すべてのご質問にお答えすることができませんので、どうかご容赦願います。 (質問読み上げ→座長から回答者案内) ．．． みなさま、ありがとうございました。 以上で質疑応答を終了いたします。		
15:17	1`00		富田所長	せっかくの機会ですので、本日ご参加いただいている日本赤十字社救護・福祉部の軽部部長からもなにかご意見・ご感想をお願いできますでしょうか。	富田カメラ	
15:18	3`00	救護・福祉部長コメント	軽部部長		軽部カメラ	
15:21	1`00		富田所長	軽部部長、ありがとうございました。 それでは、全体を通して日本赤十字社の清家社長からも一言コメントを頂戴できますでしょうか。	富田カメラ	
15:22	3`00	社長コメント	清家社長		清家カメラ	
15:25	1`00		富田所長	清家社長、ありがとうございました。 それでは最後に、山本座長から全体総括をお願いいたします。	富田カメラ	
15:26	3`00	座長全体総括	山本先生	清家社長、また、上村審議官や災害救護研究所の各部門長の皆さまもありがとうございました。	山本カメラ	

				ました。 ・・・ ・・・ 以上をもちまして、災害救護研究所セミナーの全体討論を終了といたします。		
15:29	1`00		司会者	座長の先生方、上村審議官、清家社長、各部門長の皆様、全体討論へご参加いただきありがとうございました。 さて、そろそろお時間となりますので、閉会にあたりまして、日本赤十字看護大学学長の守田よりご挨拶申し上げます。	司会者カメラ	
15:30	2`00	閉会の辞	守田学長		守田カメラ	
15:32	1`00	閉会后連絡	司会者	以上をもちまして2023災害救護研究所セミナーを閉会といたします。 ご講演いただきました先生方、ご参加いただきました皆様、本日は長時間にわたり、誠にありがとうございました。 なお、本日のプレゼンテーションで使用了スライド資料につきましては、公開可能なものを後日、本研究所ホームページに掲載する予定です。 詳しくは改めてメール、ホームページ等でお	アンケート PPT	※影ナレ

				知らせいたします。 また、今後のセミナー運営の参考とさせていただきますので、ぜひアンケートへのご協力をよろしくお願いいたします。 本日は誠にありがとうございました。 ご参加いただきました皆様におかれましては、順次退室をお願いいたします。 全体討論にご参加いただきました皆様におかれましては、カメラをオンにしたまま、いましばらくお待ちください。		
15:33		閉会				配信終了
			司会者	全体討論にご参加いただきました皆様におかれましては、ZOOM 上での記念写真を撮りたいと思います。 カメラをオンにしてご参加ください。 ．．． ありがとうございました。	ギャラリー メイン PC:背景画面	※影ナレ

8. 全体討論進行イメージ（案）

■参加者 上村審議官（内閣府）、中野院長（災害救護部門）、中出部長（国際医療救援部門）、佐藤課長（国際救援部門）、内木教授（災害看護部門）、白土次長（防災減災部門）、森光課長（心理社会的支援部門）、古宮部長（感染症部門）、安江次長（災害ボランティア部門）、曾篠課長（災害救援技術部門）

■座 長 山本先生、富田所長

■進行（案） 全体討論（17分） ➡ 質疑応答（5分） ➡ 清家社長コメント（4分） ➡ 山本座長総括（3分）

1.テーマ	これからの日本の災害対応を考える
2.ねらい	温暖化に代表される環境変化に伴う地球規模での自然災害の多発や、新興感染症の全世界への急速な拡大に対応できるように、災害救護体制の充実はグローバルな課題と認識されている今日において、国（内閣府）の防災施策の方向性と、それに続く災害救護研究所の各部門の取り組みを踏まえ、これからの日本の災害対応はどうあるべきかについて参加者間で議論を深めること。
3.討論例①	国の防災施策の方向性に合致すると考える部門研究について ・ 該当部門から、現在の研究活動において合致すると考えられる事項 ・ 現在の研究活動にはないが、今後部門として取り組むべき合致すると考えられる新たな研究テーマ 等
4.討論例②	国の防災施策の方向性には合致しないが（日赤として）取り組むべきと考える事項について ・ 国との協働について関係当局への働きかけなど、（日赤として）今後取り組むべき行動・課題 等
5.まとめ例	これからの日本の災害対応はどうあるべきかについて ・ 参加者によるコメント

9. 参考



五姓田芳柳（二世）「関東大震災当時の宮城前本社東京支部臨時救護所の模様」（日本赤十字社東京都支部所蔵）

1923 年 9 月 1 日、関東地方でマグニチュード 7.9 の地震（関東大震災）が発生。被害は東京、神奈川など 7 府県に及び、死者・行方不明者は約 10 万人を超えた。日赤は各支部の救護班を動員し、延べ 206 万人余を救護した。

二代目 五姓田 芳柳（ごせだ ほうりゅう）は、明治末期から昭和初期にかけて活躍した洋画家。日本赤十字社の特別社員を務めており同社依頼の作品も多く、1926 年のフィラデルフィア万国博覧会に関東大震災発災当時の皇居前での日本赤十字社の救護活動の様子を描いた絵画（上図）を出品した。